

1年

数学科 令和8年度 指導・評価計画

月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	0章 算数から数学へ 3時間	・自然数を素因数分解できる	素数の意味と素因数分解	自然数を素因数分解することができる	I III	●観点I 【知識・技能】 ・定期考査
	1章 正負の数 26時間	・符号のついた数を理解する ・数の大小を理解する ・正負の数の加法、減法ができる ・加法と減法の混じった計算ができる ・正負の数の乗法、除法ができる ・乗法と除法の混じった計算ができる ・四則計算ができる	符号や正の数、負の数の意味を知る 不等号の意味を知る 正負の数の加法、減法の意味と計算方法 加法や減法の混じった式を計算をする 正負の数の乗法、除法の意味と計算方法 交換法則や結合法則を利用して計算をする 四則の混じった式の計算をする	正の数や負の数に関する用語を理解している 正の数や負の数を数直線で表したり、不等号を使って表現できる 正負の数の加法、減法の意味を理解し、計算ができる 加法、減法を統一的に見ることができ、代数和の考えで計算ができる 乗法や除法を統一的に見ることができる 交換法則や結合法則、分配法則が成立することを理解している 正負の数の四則計算ができる	I III II III I III I III II III II III	●観点II 【思考・判断・表現】 ・定期考査
5	2章 文字と式 20時間	・文字を使った式で表すことができる ・代入と式の値を求めることができる ・一次式の計算ができる	文字の導入とそれを使うことの良さを知る 文字使用のきまりにしたがって、色々な数量を表現する 代入と式の値を理解し、具体的な場面で値を求める 一次式の意味を理解し、一次式のいろいろな計算をする	文字を用いることで数量を統一的に表現できる事を理解している 文字を使っていろいろな数量を表そうとしたり、数理的に考察することができる 代入や式の値の意味を理解し、値を求めることができる 一次式の意味と計算方法を理解している	I III I III II III I III	●観点III 【主体的に学習に取り組む態度】
	3章 方程式 18時間	・方程式の意味がわかる ・一次方程式を解くことができる	方程式とその解の意味を知る 一次方程式を解く 移項の意味を知る いろいろな方程式を解く	方程式のなかの文字に値を代入して、解であるかどうか確かめることができる 方程式、方程式の解、移項、一次方程式の意味を理解している 方程式を等式の性質や移項を使って解くことができる いろいろな方程式を効率的に、正確に解くことができる	I III II III II III I III	●観点III 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業での発言内容 ・ノートの記述内容
6	4章 比例と反比例 22時間	・変数、比例、関数、変域の意味を知る ・比例する量を見つける ・座標について知る ・比例のグラフを書く ・反比例の意味を理解する ・反比例のグラフを書く	ともなうて変わる量の変化の仕方を探る 事象の中から比例する量を見つける 座標に関する用語を知る $y = ax$ のグラフを書く $y = ax$ の値の変化を調べ、特徴を知る 反比例の意味を理解する 反比例のグラフを書く 反比例のグラフの特徴を知る	2つの量の関係に対応と変化で捉えようとする 事象の中から比例する量を見つけ、それを式で表せる 座標の意味を理解している 表、式からグラフがかけられる 値の変化のようすからグラフの特徴や変化の状態を考える 反比例の意味がわかる 表、式からグラフがかけられる 双曲線という曲線になることを知る	I III II III I III II III I III I III II III	・授業の自己評価 ・授業の振り返り ・振り返りテスト
	5章 平面図形 18時間	・図形の移動について理解する ・基本の作図ができる ・おうぎ形について理解する	平行移動、回転移動、対称移動の意味を知る それぞれの移動における性質 定規、コンパスの使い方と作図 おうぎ形の弧の長さや面積を求める	3つの移動を互いに関連づけて理解する 3つの移動について、それらの性質を見いだしたり、調べたりすることができる 3つの移動について、移動させた図形を書くことができる 定規、コンパスに使い方を知り、作図の意味と方法を理解して、図を書いたり、性質を考えたりする おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を理解している	I III II III II III II III I III	・授業の振り返り ・振り返りテスト
7	6章 空間図形 22時間	・いろいろな立体を分類することができる ・立体をいろいろな見方ができる ・立体の投影図について理解する	多面体の意味を知る 正多面体の意味とその種類 角柱、角錐、円柱、円錐の共通点と相違点を考える 直線や平面の位置関係を考え、立体の展開図をかく 投影図の意味を知る	多面体の意味を理解し、それらを調べる 正多面体の意味を理解し、頂点や辺の性質からその種類を考え、5種類しかないことを知る それぞれの立体の意味を理解し、その特徴を調べることができる 直線や平面の位置関係を理解し、立体の展開図をかくことができる 投影図の意味を理解し、これを用いて空間図形の性質を見だし、考えることができる	I III II III II III II III I III	・授業での発言内容 ・ノートの記述内容
	7章 資料の分析と活用 11時間	・資料の散らばりと代表値を求めることができる ・累積度数を求めることができる ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取ることができる	度数分布を求める 範囲と代表値を求める 累積度数を求める 起こりやすさの表し方を理解する	度数分布表やヒストグラムなどを理解し、それを表したすることができる 資料の範囲や代表値を求め、資料の傾向を読み取ることができる 累積度数、累積相対度数の意味を理解し、求めることができる 不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる	I II I I	・授業での発言内容 ・ノートの記述内容